

(様式第4号)

令和7年度 第1回 上田市子ども・子育て会議 会議概要

1 審議会名	上田市 子ども・子育て会議
2 日 時	令和7年8月5日(火) 午後1時30分から午後3時45分まで
3 会 場	ひとまちげんき・健康プラザうえだ 2階 多目的ホール
4 出席者	酒井会長、長谷川副会長、阿部委員、加藤委員、金委員、下村(久)委員、 下村(敬)委員、高井委員、高橋委員、八反田委員、溝口委員、宮下委員、山寄委員
5 市側出席者	山賀健康こども未来部長、櫻井健康推進課長、久保田保育課長、翠川保育課保育担当 政策幹、上田障がい者支援課長、渡辺学校教育課長、加々井子育て・子育て支援課長、 戸谷母子・精神保健担当係長、中沢母子・精神保健担当係長、山口保育担当係長、大 木保育担当係長、高橋子育て・子育て支援担当係長、斎藤子育て・子育て支援担当係 長、高寺こども家庭福祉担当係長、宮沢発達相談センター次長、谷口子育て・子育て 支援担当主査
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年8月14日
協 議 事 項 等	
1 開 会	(加々井子育て・子育て支援課長)
2 あいさつ	(山賀健康こども未来部長)
3 人事通知書の交付	
4 委員自己紹介	
5 事務局紹介	
6 上田市子ども・子育て会議について【資料1】	事務局から説明
7 議 事	
(1) 第3次上田市子ども・子育て支援事業計画(上田市こども計画)について【別添】	事務局から説明
(委員)	「量の見込み」とは何か。
(事務局)	計画における事業の予想数値。事業により利用回数や人数等、単位は異なる。
(委員)	計画書やさしい版の全戸配布はしないのか。
(事務局)	データで市ホームページに掲載があり、必要に応じて職場体験等で配布予定である。
(2) 令和6度上田市子ども・子育て支援事業実施状況等について【資料2】【資料3】	事務局から説明
(委員)	非課税世帯や低所得世帯への助成や補助は多いが、課税世帯への支援は少ないように思う。市の課税世帯への支援の見解を問う。

(事務局)

第3次上田市子ども・子育て支援事業計画策定時の保護者アンケートにおいても、「経済的な支援」を求める声が多く、大切な視点と捉えている。現在、ひとり親支援として、児童扶養手当受給者の課税世帯への物価高騰対策給付金給付事業や出産祝金給付事業、給食費値上げ分に対する補助、福祉医療費給付事業の18歳までの拡大を実施している。

(委員)

不登校児童・生徒の増加の背景に保護者の就労や経済困窮の影響も考えられる。不登校家庭への経済・就労面への支援は検討しているか。また、支援策の実績と課題認識はいかがか。

(事務局)

在宅支援金や就労調整制度は勤務先企業の考え方もあり、市単独での実施は難しい。訪問型支援員派遣についてもトラブルへの対応等があり困難と考えている。不登校の原因は無気力や生活リズムの乱れが多く、個々の状況を見ながら各学校で丁寧な対応を実施している。また、中間教室や民間のフリースクール等の居場所づくりについても社会とのつながりという点で支援と捉えている。実績としては教育相談所で相談を受けており、来所相談が年1,600件程、電話相談3,200件程、訪問支援1,100件程ある。

(委員)

不登校については、民間での支援も多く、支援者の声も聴いてほしい。不登校や自死は夏休み明けの9月に多いと聞くが、対策は考えているか。

(事務局)

長期休暇明けに不登校傾向や集団が苦手な子へは個別に電話連絡し、不安解消に取り組んでいる。自死に関してはSOSの出し方講座等を実施している。また、声を出せない子どもにも配慮し、アンケートの実施や担任以外にも相談できることについての周知にも取り組んでいる。

(委員)

【資料2】P8、No.85 発達相談事業について、予約が取りにくいという話を聞く。実績を見ると相談件数が多いが、内容の見直しとは具体的に何をどうするのか。

(事務局)

発達相談センターでは1か月以内に受けることができる状況であり、予約が取りにくいのは医療機関受診である。見直しについては、作業療法士の増員といった職員体制の拡充を検討している。

(委員)

【資料2】No.81、82は発達相談センター、No.89は健康推進課がそれぞれ担当課とあるが、事業の違いは何か。

(事務局)

No.89 すまいる広場はスクリーニング機能もある事業。No.81 親子教室たんぽぽとNo.82 たんぽぽ広場は支援が必要な子どもを対象としており、各事業それぞれ保健師等専門職が連携し実施している。

(委員)

ワクチンの重要性の理解促進と接種勧奨について、市に協力いただきたく要望とする。

(3) 上田市保育施設整備計画の改訂(案)について【別添】【資料4】【資料5】

事務局から説明

(委員)

保育園のエアコン設置状況について、各教室にはあるが、廊下・遊戯室にはなく現場が大変と聞く。また、災害時には被害が大きいとの予測がある場所に位置する園もあり、園舎の老朽化も進んでいる。どのような順番で整備を検討しているか。

(事務局)

エアコンは少しでも早く設置したいと考えている。整備は建物の老朽化状況や園児の人数等を踏まえ検討している。また、どの園についても現地建替は困難であり、園統合や長寿命化等を検討しているが、地域との協議等も必要であり、明確な順番はない。

(委員)

整備においてバリアフリーの考え方は取り入れているか。

(事務局)

新しい園においては建築段階からバリアフリーの視点を取り入れ建設をしている。今後も可能な限り対応してまいりたい。

(委員)

中心市街地は人口減少の問題があるが、計画にはどのように反映していくのか。

(事務局)

3歳以上児は余裕があるが、3歳未満児は飽和状態で定員と現状にずれが生じている。中心市街地の園は入園率が少なく見えるが3歳未満児は増加傾向。通勤等で居住地域以外に入園希望のある方も多く、単純に数値で見えない部分もあり、ニーズ等も見ながら計画を立てている。

(委員)

医療的ケア児の現状はどうか。

(事務局)

現在、市内に30名程度の在宅の医療的ケア児がいることを把握している。

(委員)

年齢的なところはどうか。

(事務局)

18歳未満が3/4程度、18歳以上が1/4程度である。

(4) 私立幼稚園の認定こども園移行に伴う定員設定について【資料6】

事務局から説明

(委員)

変更前後の数の差は何か。

(事務局)

変更前は幼稚園としての定員数。変更後は認定こども園としての定員数となる。

(5) 放課後児童施設個別施設計画の変更(案)について【資料7】

事務局から説明

質問・意見等なし

8 報告事項

(1) 小規模保育事業所設置・運営事業者に係る公募型プロポーザルの実施結果について【資料8】

事務局から説明

質問・意見等なし

(2) その他

- ・「こども誰でも通園制度 上田市の対応について」【当日資料】

事務局から説明

質問・意見等なし

9 閉 会